令和3年度　学校評価に関するアンケート集計結果（高等部生徒）

福島県立聴覚支援学校

A:十分できている。B:ほぼできている。C:あまりできていない。D:できていない。

番号	評価項目	A＋Bが90%以上		C+Dが20%以上	
		A	B	C	D
1	授業では、「わかった」または「おもしろい」と思える。	48.3%	51.7%	0.0%	0.0%
2	進路実現に向けて目標をもち、それに向けて努力している。	43.3%	43.3%	13.4%	0.0%
3	他校と勉強や運動をする機会がある。（交流会、高体連など）	37.9%	31.0%	17.3%	13.8%
4	図書館や図書コーナーを利用したり、本や雑誌などを読んだりしている。	34.5%	41.4%	13.8%	10.3%
5	生徒会の活動（委員会、行事、役員会等）に、積極的に取り組んでいる。	62.1%	37.9%	0.0%	0.0%
6	学校給食を楽しみにし、栄養面やマナー、手洗い等の衛生面について考えながら食べている。	58.6%	34.5%	6.9%	0.0%
7	多様なコミュニケーション手段（音声、文字、手話、指文字など）を活用して思考したり伝えたりしている。	58.6%	34.5%	6.9%	0.0%
8	学校では、友達と、お互いに分かり合える方法でコミュニケーションを取っている。	55.2%	41.4%	3.4%	0.0%
9	先生や友達、来校者に自分から元気にあいさつをしている。	55.2%	41.4%	3.4%	0.0%
10	学校は生活や勉強などがしやすい環境が整っている。	46.7%	43.3%	10.0%	0.0%
11	交通安全に気を付けている。	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%
12	寄宿舎では安心して生活をしている。（寄宿舎生のみ）	52.9%	47.1%	0.0%	0.0%

＜学校評価アンケートの結果から＞

◎学力向上や進路実現に向けて努力している様子がうかがえます。時にはうまくいかずに自信を失ったり、落ち込んだりすることもありますが、先生や友達とコミュニケーションを取りながら解決しようと努力する様子も見られます。

◎読書は、体験したことのない世界観を知ることができたり、正しい言葉の使い方を学ぶことができたりと、自分の視野を広げるのに役立ちます。社会での活躍を間近に控えた高等部生として様々な情報に触れ、日常的な会話力を高めるようにしましょう。

＜意見や要望について＞

◎身近な人と自分からすすんで仲よくしたいという心がけや、校外での交流活動に対する意欲に関しての意見が寄せられました。自分のことを知ってもらったり、相手のことを理解したりするために必要なコミュニケーション技術を日頃から磨き、様々な人との出会いに備えましょう。

◎学校の設備についての意見がありました。歴史ある校舎での生活に不便を感じることも理解できます。安全に心地よく過ごすことができるように少しずつ整えていますので、みなさんも丁寧に清掃に取り組み、清潔感のある環境を維持していきましょう。